

今月の主な内容

- 1面：平成20年度入学式
- 5面：自社広告
- 10面：硬式野球部3位確定



携帯HP

神戸大学ニュースネット
NEWS NET
©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html
関西学生報道連絡共同編集室 〒532-0011大阪府淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FA X06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com

しらすな会
軟式・硬式ピッチングマシン貸出無料!
体育館・野球場・テニスコート・その他手配万全!
南紀白浜サークル
合宿情報
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4
電話0120-53-1662
http://www.shirasuna.jp/

5月号

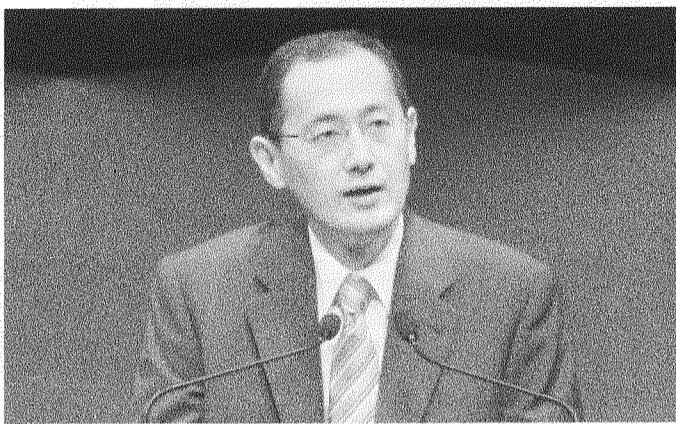
神戸大の春へようこそ

平成20年度入学式 IPS細胞 山中教授が記念講演

重要性を強調した。また、神戸大が輩出した優れた卒業生の存在をあげ、彼らを別世界の人のようにとらえず身近な先輩として自分の学生生活の誇りにして欲しいと期待を述べた。最後に学長は「先輩、先生たちとの関わりを、リアルな場で共有してほしい。神戸大で人間性、国際性、専門性を養いながら努力を積み重ねれば、夢は必ず実現できるはず」と新入生を激励した。

今年度入学式の記念講演には、神戸大医学部出身で現在京大でIPS細胞研究センター長を務める山中伸弥教授を招き、「IPS細胞研究で学んだこと」をテーマに記念講演が行われた。教授は「些細なことでも一歩一歩進んで、ネガティブな経験からも学んでください。大学生活はあつという間に過ぎてしまいますが、自分に堪能してください。私は神戸大出身である事をとても誇りに思っています」と話し、明確な目的を持って日々邁進することの大切さを呼びかけた。IPS細胞の開発によって世界中の注目を集める教授の新生入生一人一人に話しかけるような講演に、新生たちは真剣な表情で聞き入っていた。

経営学部に入學した女子生徒は「山中先生の話はとてもおもしろくて勉強になった。神戸大ではいろんな人と出会って友人を増やし、一つ一つの授業を楽しくしたい」と新生活への期待を語った。



記念講演で、自分の目標をしっかりと努力することの大切さを強調した京大の山中教授。(4月8日・ポートアイランドホールで撮影＝梅本良恵)

大腸菌不正処理 医学部 学内で研究停止

神戸大は4月4日、医学部研究科の久野高義教授(分子薬理学・薬理ケム学)らが遺伝子を組み換えさせた大腸菌を種々キャンパスの研究棟の廊下で培養していた疑いがあることを発表した。

文科省は3月17日、「廊下での実験や不適正な処理が行われている」と匿名の通報があり、同省は神戸大

に報告。今回の発表に至った。大腸菌の培養は周囲への拡散を防ぐため、法律や学内規則により限られた区域でしか行うことができない。今回、久野教授の研究室のメンバーらは細菌の扱いが禁止されている基礎学舎北棟の廊下で実験をしていた疑いがある。また、神戸大は4日の記者会見で「適切な処分が行われた」としていたが、研究室の関係者複数が「実験に使った大腸菌を垂れ流している」と証言しているなど、実際にはさまざまな処分が行われていた可能性も新たに浮き上がった。神戸大は調査委員会を立ち上げ、久野教授に事情聴取を行い、「一部の人の話が正しいかどうかを確認し、わかり次第報告する」としている。

戸大は4日の記者会見で「適切な処分が行われた」としていたが、研究室の関係者複数が「実験に使った大腸菌を垂れ流している」と証言しているなど、実際にはさまざまな処分が行われていた可能性も新たに浮き上がった。神戸大は調査委員会を立ち上げ、久野教授に事情聴取を行い、「一部の人の話が正しいかどうかを確認し、わかり次第報告する」としている。

「ビジュアル版 神戸大学物語」刊行

神戸大の生い立ちやエピソードを紹介する「ビジュアル版 神戸大学物語」が刊行された。多くの人に神戸大の歴史を知ってもらいたいというコンセプトのもと執筆された。神戸大生協や神戸、大阪の二部の書店で販売されている。定価は1冊100円。

神戸大では現在、神戸大百年史の刊行作業が進められている。そのデータをもとにしながら、より手軽で身近な書籍として多くの人に読んでもらうことを目的として5人の執筆者が共同で執筆した。全12学部の総合大学としての神戸大の歴史を、平易な表現と多くの写真や図を用いて伝えている。本の内容は、神戸大にまつわるエピソードや大学の発展に尽力した偉人の紹介などが中心となっている。



介など多岐にわたっている。書籍を發行するのは本が初めてとなった同学生業会の中合同司さんは、学生へのメッセージとして「歴史を正しく理解することは現在の誤りを防ぐことにつながる。神戸大の発展に尽力した先輩たちの存在を知って、学生生活に誇りを持ってもらえれば」と期待を話している。

カフェ「アゴラ」オープン わかり合うきっかけに

神戸大発達科学部キャンパスに4月7日、障がい者を中心として運営するカフェ「アゴラ」がオープンした。

「アゴラ」とはギリシャ語で広場という意味。発達科学部キャンパスA棟6階にあり神戸の街を見渡せる。責任者の吉田収(おさむ)さんは先天性の脳性まひを持つ。以前は灘区で喫茶店を営んでいたが、障害者自立支援法の施行による存続が困難に。小規模作業所として運営を続ける方法を模索していた昨年6月、発達科学部の津田英二准教授からカフェの話を持ちかけられた。「神戸大で(カフェを)させてもらおう」と意味があると言田さん。学生らが弱い立場の人の気持ちを考え、支援について

はちの巣新歓公演

演劇研究会はちの巣座の新歓公演「八月のシャハラザード」が4月22日から30日まで六甲台講堂で行われた。4日間で100人近くの新生が訪れた。

淡く切ない夏物語

立つ天宮は水死体の役作りの練習中、おぼれて死んでしまう。恋人の予期せぬ死にひどく悲しみに振舞うが、心の中は深い悲しみに包まれていた。天宮は別れ際に言えなかったさまざまな

大学、事実認める アカハラ 解決金30万円

医学部保健学科で、30歳代の女性助教が上司の女性教授から退職を強要する嫌がらせがあったとして、神戸大が地方裁判所の労働審判委員会が3月24日に、神戸大に対して30万円の解決金を支払うように命じたことがわかった。神戸大は一部使用者責任を認めざるを得ない」として、4月8日に意義申し立てを断念した。

女性助教は女性教授から「他の職場を探すのも1方ら」を言ったため、死後の自分の姿が見える強盗・川本に思いを託す。

「学劇王」予選始まる

関西の学生劇団による演劇コンペ「学劇王」が3月から始まった。現在、神戸大を含む4大学6チームが参加。7月上旬に予選結果を発表し、3チームが8月18・24日に精華小劇場で行われる本選に出場する。代表の川本航平さん(工・4年)は「関西の学生演劇の面白さを伝えたい」と意気込んでいた。

伏流水

去る4月12日、我がが、いや、世界のアニキこと阪神の金本知憲選手が2000本安打を達成した。現役生活17年目、40歳と9日での到達はプロ野球史上3番目の高齡だ(1位は中日・落合監督の41歳と4ヶ月)。不惑を迎えても鉄人の勢いはまだまだ衰えることを知らない。バットを握る選手は年々伸びている。医学をほじめて技術の進歩や練習環境が充実し、選手のパフォーマンスは飛躍的に向上した。だが、それだけで誰もがアニキのような大記録を達成できるわけではない。金本選手は、12年連続でフルラインアップ出場(5月6日時点)を続ける肉体と精神力の強さだ。正片返上で自主トレをはじめ、護摩木を焚いて心を鍛える。記録の達成はこうした日々の節制の賜物だ。04年に左手首を骨折した時、記録は途切れるかと思われた。しかし片腕で本塁打を放ち活躍する姿に真のプロ魂を見た。生現役だ。最近専らそう思う。仕事、勉強、遊び。派手な活躍は出来なくとも、常に自分を信じ続けることが何より大切だと感じる。あと数ヶ月で20代も後半戦。アニキを見習い、いつまでも若くありたいものだ。

一週間、購読無料。
この機会に新聞を
読んでみませんか?
いまなら一週間お試し
キャンペーン実施中!
http://www.asa-takaha.com
朝日新聞ご購入のお申込みは
ASA 高羽
0120-084013
神戸市灘区土山町1-13
※但し灘区内在住の方に限ります。

2強の壁破れず

リーグ3位が確定 私大に4連敗響く 硬式野球

近畿学生野球春季リーグ戦が4月4日に開幕した。神戸大は開幕戦の大敵大戦をサヨナラ勝利で飾ると投打が噛み合い4連勝。しかし、その後の阪南大・奈良大との対戦で4連敗を喫し、最終節を残したままリーグ3位が確定した。(5月6日現在)

リーグ戦最高のスタートだった。開幕戦の大敵大戦は息詰まる投手戦のなか、延長13回2死・3塁の場面、中前に殊死のサヨナラ適時打。18選手をつぎ込んだ総力戦で劇的白星発進を飾った。

連勝を重ねた4試合で、私大との対戦から、阪南大との初戦は、神戸大が幸



開幕投手を務めた伊勢本(4月9日・南港中央野球場で撮影=仲田一平)

先よく3点を先制。逃げ切りパターンかと思われたが、7回に先発伊勢本と救援した内田が打ち込まれ一挙4失点。9回に金川の同点2点適時二塁打が飛び出すも、その裏に福井(経営・3年)がサヨナラ打を浴び初黒星。これまで奮闘していた投手陣が粘り切れずリーグ戦初黒星を喫した。阪南大との2戦目も敗北し、勝ち点を奪われてしまった。

私大との対戦から、阪南大との初戦は、神戸大が幸

攻守に完敗 立命に零封 アメフト

第58回長浜ひょうたんボウルが4月29日、長浜ドームで行われた。今年のカードは神戸大・立命館から積極的に攻める立命館に対し、攻守両面で精彩を欠いた神戸大は0-42で完敗。立命館はひょうたんボウル16連覇を許した。

まさに壁。神戸大の攻撃は立命館の陣地の前にとどまると屈した。再三のパスミスに被インターセプト。攻撃の糸口すら見えてこない。第2Q中盤には立命館のTB松森が79ヤード独走TDを決められるなど、前半終了で0-25。

唯一のチャンスは第3Qの終わりにP阪本(法・3年)のエンドライン直前で止まるパントキックの後、敵陣残り1ヤードから立命館の攻撃で迎えた第4Q、なんとか攻撃権を奪い点を取りたい神戸大だったが、立命館の猛攻でじわじわと押し

SPORTS

武庫女大に完敗

タッチフット準優勝

春季関西学生女子タッチフットボールトーナメント決勝、神戸大ROKS-武庫川女大戦(5月3日、聖和大学グラウンドで行われた)。ROKSは相手の素早く正確なパス攻撃を防ぐことができず、13-19で敗戦。全国大会(シュガーボウル)への出場権を手にするには、まさかだった。

初戦の関学戦を39-6

た。武庫川女大にミドルパスを効果的に使われ第1ダウンを更新される場面の繰り返し。第2Q終盤にはフィールドで相手の攻撃が10ヤード後退したもの、直後のプレーで相手QBのパスから50ヤードの勝ち越しランTDを決められた。武庫川女大の攻撃でも武庫川女大の固いガードの前にパスがほとんど通らず、追い上げ態勢をつくれなかった。QB佐野(発達・3年)のランTDとTFPで王者武庫川女大に6点差にまで迫ったが、追い上げもできず、無情にも試合終了の笛が鳴り、全国大会への道は途絶えた。

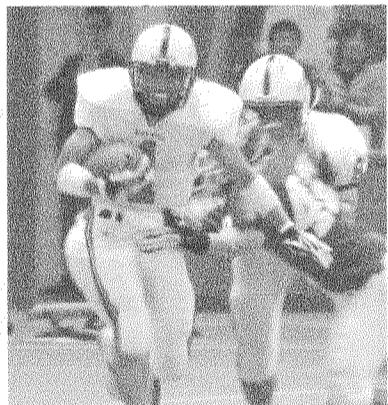
ロングパスを意識するあまりディフェンスの位置が下がり気味になってしまっ



第2Q、追いかけるも勝ち越しTDを許す西宮主将(5月3日・聖和大学グラウンドで撮影=濱田直毅)

関西学生バスケ選手権 ベスト16で敗退

関西学生バスケ選手権大会4回戦、神戸大1天理大が4月27日に近大本部キャンパス記念会館で行われた。神戸大は一時同点に迫り、第2Q終盤から徐々に引き離され、60-91で敗戦。昨年



第2Q、立命のディフェンスライン突破を試みるRB小椋(4月29日・長浜ドームで撮影=伊崎春樹)

と同日ベスト16で大会を終えた。

8強入りは、強敵に阻まれた。優勝候補の一角に、後半、点差をつけられての敗北。昨年のリーグ戦で、神戸大は天理大に勝利こそしているものの、集中力を欠いた。「うちのシューターのリズムが悪かった。結構色んなところから射られる」と立山コーチ。

試合開始直後から、シュートが入らず、天理大を追う展開が続いた。第1Q終盤には、得点源になっていたC蔵田(経済・4年)

が右足首を捻挫。出場は続けたが、本来の調子が取り戻せなかった。それでも、第2Q序盤に、G堀江(理・4年)の3点シュートなどで同点とし、食いつかれた。だが、前半終了間際から、パスミスからの失点が目立ち、勢いを失った。さらに、第4Q中盤には、堀江も5ファールで退場した。神戸大は攻守で精彩を欠いた。

チームの中心となっていた4年生のAが、就職活動でほとんどの大会前練習に参加できなかったことが響いた。「対策の立てようがない

が右足首を捻挫。出場は続けたが、本来の調子が取り戻せなかった。それでも、第2Q序盤に、G堀江(理・4年)の3点シュートなどで同点とし、食いつかれた。だが、前半終了間際から、パスミスからの失点が目立ち、勢いを失った。さらに、第4Q中盤には、堀江も5ファールで退場した。神戸大は攻守で精彩を欠いた。

チームの中心となっていた4年生のAが、就職活動でほとんどの大会前練習に参加できなかったことが響いた。「対策の立てようがない



ゴール下に切れ込み奮闘するG堀江(4月27日・近大本部キャンパス記念会館で撮影=濱田直毅)

めきれない現状。攻撃力の向上が大きな課題だ。

敢闘選手に選ばれたRB小椋(海事・3年)は「完全に力負けしていた。勝つて最優秀選手に選ばれたという悔しさを覚えました。」

【伊崎春樹】

甲南大に勝利
ラクロス

ラクロスフライドトーナメント1回戦が4月26日に鶴見緑地運動場で行われた。神戸大男子ラクロス部は甲南大と対戦、9-4で勝利を収めた。試合終了のホイッスルが鳴ると、選手たちは歓喜に沸いた。A T田中(経済・4年)は勝利を喜びつつ、甲南大のペースにのまれた第1Qについて「立ち上がりはまずかった」と課題を残した様子。しかし、試合中盤から神戸大が試合を支配。失点を4点に抑え、甲南大を打ち負かした。最後の1点を決め、甲南大との連携プレーでも活躍を見せたMF林(工・4年)は「1年からの練習で築いた信頼関係があったからこそできた」と話し、選手間の絆を感じさせた。4月13日に行われた新入生歓迎スポーツフェスティバルでは甲南大と対戦、ラクロスは女子が7-3で勝利するも、男子は4-5で敗戦した。午後からのアメフトでは神戸大レイバンスが13-12で甲南大レッドキヤンクに逆転勝利を挙げた。

この日、新入生で埋まったバックスタンドを最も沸かせたのはレイバンスのQB大原(経済・4年)だった。試合後半から出場し、前半機能しなかった攻撃を立て直した。「リズムよく行こうとした」と司令塔から繰り出されるパスは次々と味方レシーバーの胸に収まる。第4Q終盤にはRB松村(経済・3年)に絶妙なパスを送り、逆転のTDを演出。秋にはリーグ戦1部で対戦する甲南大を二気逆転で下した。

大原は「点を取ってくれと言われた。しっかりと本決めることができてよかった」と任務を全うしてホッとしていた。【仲田一平】

日本代表を応援 フットサル部新歓ツアー

フットサル部主催で5月1日、日本代表ワールド記念ツアーがワールド記念ホールで行われた。試合は0-3で日本代表が敗れたが、集まった100人近くの

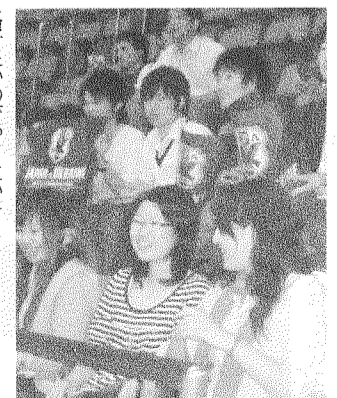
新入生は、選手らの華麗な技に歓声を上げた。このツアーは新入生にフットサルの魅力を知ってもらおうと、フットサル部によって企画された。試合を観戦した新入生は「普通」に面白かった。「レベルが高い」などフットサルの魅力を感じていたよう。「入部したら関西リーグで優勝したい」と意気込んでいた。また、女子フットサルサークルに入る新入生は「高校ではバレーをしていたが、ゴレイロ(キーパー)が

格好良いのでもうやりたい」と語った。部長の吉田(国文・4年)は「今日の企画は急だったにもかかわらず、多くの新入生が集まってくれた。見込みのある試合だったので成功だった」と

【松本尚也】

新歓フェスタ
王子スタで開催

新入生歓迎スポーツフェスティバルが4月13日、王子スタジアムで行われた。男女ラクロス、アメフト



新歓ツアーに参加した新入生ら(5月1日・ワールド記念ホールで撮影=深江友樹)